

# 有望枝物花木「ライラック」の栽培体系

山形県立園芸試験場

## 研究のねらい

需要はあるものの、国内での生産が少ない、今後有望な枝物花木「ライラック」について、露地の切り枝栽培体系を明らかにした。

## 研究の成果

露地ライラックはおよそ定植5年目から収穫が可能である。

適する品種は白色では「マダム・レモアーン」、淡紫色では「ポール・シリオン」、「チャーム」、「モンタギュー」、「クライド・ハード」、淡紫桃色では「アナベル」、紫色では「センセーション」、「ルードウィヒ・フォン・スパース」の8品種である。

収穫前年には台付け\*のために整枝し、収穫当年には枝上部の花芽を残し摘芽する。収穫年次には、10～30本/樹の収量が見込める。

< 露地ライラックの切り枝栽培体系 >

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目				定	植							
2～3年目												
4年目	台付けのための整枝					×	×					
5年目			摘芽	収	穫							枝結束

注：5年目以降は2～3年ごとに収穫できる。



台付け\*(1～3月)

\* 収穫枝を多く出すための整枝方法



摘芽前



摘芽後

摘芽(4月)



収穫(5月)

品種:L・V・スパース